

「第 20 回 教育と安全フォーラム in ひろしま」を終えて

実行委員長 松浦 可奈

2026(令和 8)年 1 月 24 日(土)、安田女子大学にて「第 20 回 教育と安全フォーラム in ひろしま」をハイブリッド形式で開催しました。当日は、基調講演、体験交流、記念シンポジウムの三部構成で実施し、広島県内外から多くの参加者を迎える、盛会のうちに終了しました。

本フォーラムは、2005(平成 17)年度より継続して開催しており、今回で第 20 回という節目を迎えました。これまでご支援・ご協力を賜りました講師・助言者の先生方、関係機関の皆様、そしてご参加いただいた皆様に心より感謝申し上げます。

基調講演では、文部科学省 安全教育調査官 木下史子氏より「学校安全行政の動向～実効的・持続的で安全・安心な学校づくりに向けて～」と題しご講演をいただきました。危機管理マニュアルの見直しや実効性のある安全点検・避難訓練など日常的な安全管理の重要性に加え、子供の安全に関する資質・能力の育成に向けた、学校・家庭・地域の連携の在り方について、具体的な事例を交えてご教示いただきました。

体験交流では、参加者が 8 グループに分かれ、学校現場における様々な緊急場面での「迷い」や「葛藤」をテーマとした事例について意見交換を行いました。有識者からは、事故防止のための組織的取組、機能する緊急対応体制づくり、シミュレーション研修の有効性などについて多くの示唆が示されました。

また、第 20 回記念シンポジウムでは「安全は誰が守るのか～役割と連携から考える学校の一次予防～」をテーマに、管理職、保健主事、養護教諭、日本スポーツ振興センターそれぞれの立場から実践発表が行われました。学校安全を支える多様な役割と連携の重要性について、参加者とともに考える有意義な機会となりました。

今後も本フォーラムで得られた知見を共有しながら、学校安全の一層の充実に向けて取り組んでまいります。



実行委員長 開会挨拶



体験交流の様子



シンポジウムの様子